

刊夕日三月二



定価... 発行所... 印刷所...

### 浄土遠からず

眞 繼 雲 山

華嚴經中の『八法界品』によると、善財童子は、五十三師に就き佛を求めて諸國を遍歴した。何處かに佛様がゐるらうと見つけて歩いたのである。

先づ山川水濱に求めて得ず、仙人、苦行、俗世間に求めて得ず、資生産業の間に求めて得なかつたが一念の轉處、再生によつて森羅萬象の一切が佛の化現である。と知り犬猫にも婦人にも佛身を認め、それから聖地巡禮の修道生活に入り、遂に普賢の行願を満足したとある。善財童子の歷程とは實は釋尊の修道過程を示したものである。

斯く申す私は釋尊には遠く及びもつかぬ二十年來、道を求め佛を求めて歩いて來た。佛壇の中に佛を求め、寺院佛閣に佛を求めて得ず、果ては樺太の北蒙古の奥にまで轉々漂々として求め歩いたが遂に得なかつた。

佛は何處にありやといふに、浄土にゐます。浄土とは何かといふに安住の地である。但しそれは生活苦から離れた意味でなく、生活難のうちにも心の安住の世

あり時として浄土は臺なしとなる。

昔の高僧方が俗世間の名利を厭ふて逃げ歩かれたといふ心もちを私は今にして漸くに解し得る。高僧でも俗僧でもない私も、遠からず山に隠れる日があらう。私は久遠の光りを求めて歩くのである。



### 犬は泣く

平山 博武

風は去つて居なかつた寂しい枯野に！  
月一人寂しく遊んでおつた  
彼方に吠える犬の聲はぬのをさくやうだ  
あまりに淋しい生を感じながら  
泣いて居るのかも知れぬ  
さみしい犬よ悲しい犬よ  
此處において  
とよんだ所でこまへ  
泣けよ泣けよ  
氣のすむ迄も  
犬よそしたらねむれ  
今ねむつて居る人間のやうに  
犬よそしたら雪の朝が来るぞ  
それこそお前が自由の天地だ  
その時は  
夕べの寂しさ悲しさを  
忘れて遊べ  
木枯木の葉を撫でてつた  
蒼白顔の三日月が  
やつぱり一人で遊んでた  
星もやつぱり泣いて居る

## 例景品付大賣出し

金輸出再禁止前の安値仕入品を更に努めの破格提供!!  
舊正月二日、三日、四日の三日間

### 吉 吉 吉

## あかや洋服店

### セメント

壁用材料  
コールタール  
ペンキ塗料  
板 ガラス

磐城セメント株式会社  
代理店 西村屋薬舗  
平町二丁目(電三)

## 久全屋商店

磐城セメント會社特約店  
磐城平町五丁目 電話九番九九番

- 良品廉賣に勝る商略なし
- 確實敏捷は生命なり

### 貸切の...

御用命は？

獅子吼(四四九)ノ勢デ

眞先ニ.....(マツサキ)

三九二タクシーへ!!!

### 二重景品附大賣出し

吉例舊正月二日、三日  
御買上多少ニカ、ワラズ  
大景品 萬差上ゲマス何卒御早ク御来店下さい  
外ハ御祝ヒトシテ福袋ヲ進呈致シマス

- |    |    |           |
|----|----|-----------|
| 福袋 | 一等 | 掛時計       |
| 景品 | 二等 | 目覚時計      |
| 品  | 三等 | クロム腕鎖・同提鎖 |
|    | 四等 | 腕皮・腕ゴム    |
|    | 五等 | 耐子無料券     |
- 平三丁目(驛前通り)

### 星野時計店

舊正月二日吉例 景品附  
三日初大賣出し

御買上金一圓毎に福引券一枚尙午前二時より一圓以上御買上げの先着一百名様に限り福引景品の外福景品澤山差上げます。

福引 一等三方桐三ツ重簞笥  
以下 八等迄

優良特價品を取揃へ只管御用命を御待申して居ります當日は御混雑致しますから商品券を發行致します。

和久井屋漆器店  
電話四〇五番

# 夏井川の漁獲高と

## 河を往來する季節

### ▼平役場が調査▲

平町附近を流る夏井川の昨年中の漁獲高を平町役場で調査した處に依ると左の如く

さけ 三〇貫 三〇圓  
あゆ 五〇貫 二五圓  
うなぎ 八〇貫 二〇圓  
うぐい 五〇貫 二五圓  
合計 三〇〇貫 一五〇圓

であるが同川の魚族は上流川前附近の發電所の機械油の流失や赤井村附近の福島赤井兩炭礦より流し出される坑水の爲め魚類の食物が少くない爲め近年魚類は減少しつつある状態であると、尙是れ等魚類は産卵の爲め何時川を溯り降るかを調査の結果左の如き季節である

とよ  
▽河 湖  
さけ 九月下旬—十一月迄  
あゆ 五月下旬—八月頃迄  
うなぎ 五月上旬—八月下旬  
うぐい 四月下旬—五月下旬  
▽降 下  
さけ 十一月中旬—同月下旬  
あゆ 九月下旬—十月下旬

# 木炭が— 生産過剰で

## 三錢方の下落

濱三郡木炭界は年度内生産二百萬俵を目指し各生産地はこの農閑期を利用し

生産したところ氣味がひ陽氣にめぐり需要が減少し生産過剰となり組合の斡旋で捌け口を探すが有様で餘儀なく一俵につき三錢方の値下げをなしたため一月中の生産豫想高二十萬俵に對し六千圓の減収となり昨年同月に比し一俵で六錢の低落となつてゐるので一萬二千圓が生産者の手から奪はれたわけである

# 各工事開始され 就職難漸く緩和

## 去月中の職業紹介所

平町職業紹介所で取扱つた去月一月中の就職統計による求人では男八一名、女一五名求職では男百名、女一八名其の内就職した者は男六十五名、女七名となり昨年同期より求人二十三名で一五名の増加を見て居るとの事であるが就職率の多いのは矢張り土木關係で目下工事の中の新川改修工事等へも毎日人夫を使用して居るが他にも各工事を初めるものが多くなつたので紹介所でも是方面は樂觀して居るが學校出の就職者は依然として就職難が止まない

# 狩獵法の一項が 無駄でない證明

## 出稼中の精神病者が 免許状取り消さる

狩獵にちなんだ一つの事件——狩獵法第七條第二項「乙種免許を受けたもの白痴または瘋癲者となりたるときは地方長官その許可を取消すべし」といふ條文は、大正十年來本縣には用のないものであつたが最近それが無駄でないことが證明された、石城郡入遠野村生れ當時岩手縣氣仙郡日頃市村に出稼ぎ中の上遠野甫は昨年十一月初旬精神病者となり、一月二十五日付で免許を取り消された、たゞ不思議なことは、十二月初旬以來の二ヶ月間瘋癲者の彼に免許が殘されてゐたといふ事實である

# 酒の腐造を 平署が注意

石城郡下における今年の酒造高は一萬二千石見當とみられてゐるが極寒の酒造季

# 馬匹去勢 執行

## 産馬組合前で

既報、警衛生課の馬匹去勢法検査は二月十四日平町馬市場に行はれる筈の處本日縣の通知にて平町産馬組合前と變更されたが尙右去勢猶豫検査に不合格となつた馬は左記日割にて去勢執行されると

(三月十二日) 草野、飯野、内郷、大野、夏井、川前、大浦、赤井、(三月十三日) 玉川、好間、高久、澤渡、箕輪、上下小川

内郷の傳染病 石城郡内郷村坂本いへ(三)は腸チフス、同村鈴木ちよ(三)はデフテリアでいづれも隔離舎に收容さる

平町人事 回出生 △古鍛冶町五二、當時水戸市上市南町四五七、原田三之助氏四女定子 △白銀町五、當時茨城縣多賀郡日立町字宮田菅谷政記氏二女和子 回死 △材木町三六、當時神戸市港區神田町百五五、緑川喜久子(一ツ)

神谷村長の美舉 貧困者を獨力で救ふ 石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

神谷村長の美舉 貧困者を獨力で救ふ 石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

神谷村長の美舉 貧困者を獨力で救ふ 石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

神谷村長の美舉 貧困者を獨力で救ふ 石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

神谷村長の美舉 貧困者を獨力で救ふ 石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

神谷村長の美舉 貧困者を獨力で救ふ 石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

神谷村長の美舉 貧困者を獨力で救ふ 石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

神谷村長の美舉 貧困者を獨力で救ふ 石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

神谷村長の美舉 貧困者を獨力で救ふ 石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

神谷村長の美舉 貧困者を獨力で救ふ 石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

神谷村長の美舉 貧困者を獨力で救ふ 石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

に入つたのでこの程平稅務署では縣技師を招聘し管内當業者を集め麴の鑑定會を開いたが昨今の暖氣に腐敗

# 神谷村長の美舉

## 貧困者を獨力で救ふ

石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

石城郡神谷村長、同村字鹽の佐藤久三郎氏は舊正月の追つた中に生活に窮して居る貧困者を獨力救済せんと昨二日村役場にて是を調査し片寄スエ外八名に糯米代の代りとして一名に二圓五十錢宛給與したのでいづれも感謝して居ると

しやすいものもあり稅務當局でもこの際一段の注意を要することとて各當業者に對し注意書を配布した

# 耳鼻咽喉科専門 大和田醫院

平町南町 電一七〇

# 營業所開設

倍舊の御引立相仰ぎ度奉懇願候



# 白馬の雪營業所

辰ノ日本家 松本徳一 電話 五四六番 營業所 二八五番 本店

# 醫學博士名推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症 肥り度い人の福音 熱くなく痕つかず無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

# 志賀齒科醫院

福島縣平町五ノ廿八 産婆 關口 悦子

# 器灸温ムウチラ

金拾參圓 藥及特効サ五週間分付 金拾圓 藥及特効サ五週間分付 (説明書呈)

平町南町 鳥商鳥菊

平町南町 電一七〇

# 卒業をねらつて

## 魔の手をのばす

### 不正な営利職業紹介所の

### 甘言に釣られぬ様御注意

## 平署が取締る

地方の青少年又は婦女子を誘惑する不正営利職業紹介業者について平署は徹底的に掃蕩すべく近く検査の歩を進めるのであるが、

### 彼等の常套手段として

て現今の不景氣を機としてそれを乗り切るべく今卒業する中小學校、女學校の卒業期を控えてゐるのを誘惑絶好期となし魔の手をのばすべく毒牙をみがいてゐる。その一例は女事務員、女中募集の名をかりて旅館や自宅でさんざんもて

あそんだ上私娼や魔窟に賣り飛ばしてしまふこんだんや又女優募集と稱しステーションのはなやかな姿にあこがれを持つ地方の娘を集め二ヶ月で立派に仕上げるといふ意味で多額の月謝食費等をまき上げおまけに貞操を奪はれ

### 田舎巡りのエンチキ

にする様なものが往々あるとのことで各自も一層注意をしてもらひたいと語つてゐる

## 本春聯合消防検閲

### 四月十七日執行と決定

### 昨日の組頭會議

昨日午前十時より平署會議室に開かれた管内消防組頭會議は優良消防手の表彰並に春期消防検閲の期日決定等を行つたが本春の聯合消防検閲は四月十七日に磐城中學校グラウンドに於て執行する事に決定した

### 内郷に貯水池

石城郡内郷村消防組第六部では豫てより同部落御厩地内に

### 引續き……

### イワシ大漁

石城郡小名濱町海岸においていし漁は最近にいたり

## 鞍替は御免

### 抱主が失望 怒つて告訴

石城郡小名濱町字下横町料理屋エビス屋事齊藤ツルヨが昨年十一月郡山市虎丸町雜貨商店佐藤ミキの周旋で同市燧田料理店の酌婦伊達郡長岡村生草野カネ(一)を二百五十圓で仕込ませる事になり前記金額を支拂つた處其後カネの親元では鞍替は不承知であるからとの事に周旋人たる佐藤を詐欺罪として其筋へ告訴した

## 家賃を請求され

### 山刀で斬る

### 月二圓の家賃を 全然踏み倒して

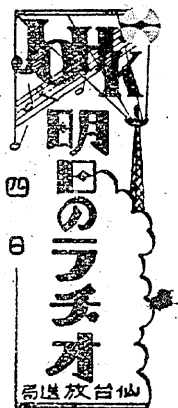
石城郡湯本町字三箇の土工竹中芳之助(一)は明治卅三年來同字の鈴木寅雄(二)所有の家屋に月二圓の家賃にて居住したが昨年八月頃より家賃を支拂はず再三交渉された結果前記肩書地へ移轉したものであるが滞納した

## 裁判所の控室から

### 外套を搔ツさらふ

### 内郷村の前科五犯の男 水戸で逮捕さる

石城郡内郷村大字綴前科五小林又次(一)は二日前午前十一時半頃水戸地方裁判所控室で眞壁郡紫尾村大字酒寄



朝豫氣天

### 今晚の部

後九、四〇時報 全國ニユース 氣象通報 番組豫告

### 明日の部

立花家金八 いね子 立花家金勝 後八、三〇 筑前琵琶一北 満の嵐 豊田旭穂

## 娘を利用して

### 前借金を詐取

### 逃走して棚倉町を徘徊中

### 其筋に捕はる

石城郡内郷村字宮飲食店昭和亭の酌婦菅野キミ(一)の父茨城縣久慈郡黒澤村字北吉澤生菅野房一(二)は前記内郷村で酌婦をして居る娘を去月廿五日平町南町飯食店弓屋事加藤房五郎へ三百廿圓にて住替させるからと稱して現金を受取り其儘行衛を晦して了つたので加藤より平署に同人の取押方を願出て居たが本日菅野は現金を抱き東白川郡に逃走棚倉町を徘徊中其筋に逮捕さ

### 江名青年

### 夜警巡回

石城郡江名町青年團では去月卅一日同村消防協議の上、夜警巡回を行ふ事となり本月三日より消防員と共に團員が毎夜交替にて夜警を行つて居ると

### 平職業紹介所報告

### 求人部

△女中 廿歳迄、尋卒、給料月七、八圓(赤井村某)

(ピアン)石川義一 後二、〇〇 家庭大學講座 「心得置くべき醫學の知識」(四)醫學博士平松鶴吉

後二、五〇 運動競技「カナダ軍對明大ラケット試合状況」明治神宮外苑競技場より中継

後六、〇〇(子供の時間) 東京ラデオオーケストラ(指揮)平野主水(解説) 贈野健美

後七、三〇 趣味講座「東北の紀行家菅江真澄翁に就いて」佐々木喜善

後八、〇〇(節分)追儺豆撒式状況「芝大神宮より中継、齋主子爵、諏訪忠元外神職十數名

△求職部 △土工夫 六十歳以下、給料面談(神谷某請負)

## 一冊の代金で

### 五冊の雑誌が

### 自由に讀める

川崎巡 回文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)



小説



【載轉禁】

渡邊 默禪 作  
布施平八郎 畫

馬鹿竹 (1)

それで室内はがらんとし  
て家具らしいのは一つもな  
く、床の間には軸物も懸つ  
てゐなかつた。取分て紙の  
横裂けした襖や、墨の汚な  
いのが著しく目に立つた。  
入つて来た時にまだ二人  
程その座敷に残つて飲んで  
ゐるのを見かけた。

自分をなかに取圍んで車  
座に居列んだ男の中、三人  
だけは湖月で見覚えてゐる  
顔だつた。

頬髯、山羊髯、鍍金縁の  
眼鏡茶色に化けかゝつたカ  
ラー、小倉物の職工服、焼  
跡だらけのセルの袴、爪が  
ぬけ出した紺足袋。

どれを見ても満足らしい  
のは一人も居なかつた。そ  
れ等の男たちは皆んな酒氣  
を帯びてゐた。

『何ぢやつちう。理窟をい  
ふなよこらッ。きさまは藝  
者ぢやろう。藝者は客に呼  
ばれりや、有難うちうて何  
處へでも出かけて行くのが  
職業ぢやろう。我々がきさ  
まを呼びにやつて此處へ連  
れて来たのが何で悪い  
か。来よるのが厭ぢやちう  
なら何故其際に拒絶せんの  
ぢや。玉と祝儀とを遣つた  
らそいでよか。黙ッ』

せいこらッ

何たら荒くれ男の醜態ぞ  
何か言はうとするとこん  
な調子に押へつけて口をき  
かせなかつた。

奴鳴る詩吟をやる、踊る  
暴れる皿をたゞ、杯を咬  
み砕く、そんなはまだよい



として、首筋にからみつき  
頬摺をする手を引張る、な  
ぐる、唾を吐きかけるとい  
ふ亂暴さに、歌治は堪らな  
くなつて立かゝると飛かゝ  
つて押据える。カワヤにゆ  
けば後から二人もついて来  
るといふ始末に齒咬しなが  
ら如何することもできな

つた。  
かくして磨められつづけ  
て一晚を明かして了つた。  
庭越しに見える森木立の  
白い露を破つて、なつかし  
い初夏の太陽が金色の光を  
射しそめる頃には、さしも  
の悪太郎ども、泥のやうに  
爛酔してごろ／＼と仆れて  
了つた。

歌治は夢から醒めたやう  
にぼつとなつて、庭へ目を  
やると墓の出さうな古池の  
あなたに草しげく荒れはて  
、涼しい朝露が光つてゐた  
彼の女の眼は直と逃げ口  
を何處に求むべきかと動き

片足をふるしかけた時に突  
然勝手の方でエヘンといふ  
高い咳ばらひが聞えた。は  
つと思つてまた縁側に体を  
立直した彼の女は、しばらく  
其處に佇んでゐた。と續  
いて四邊に響くやうな大き  
な欠伸。  
『あゝ、あの男だわ』  
前夜から臺所と勝手の方を  
取仕切つて、ちよい／＼酒  
だの料理だのを座敷へはこ  
んで居た變な男があつた。  
それだなどふと憶ひ出し  
た彼の女は急に足音を立て  
、勝手の中に入つて行つた  
と、臺所と勝手の間とこ  
ろに足を投出して眠さうな  
目をまぢまぢさすながら銚  
子に残つた酒を貪乏徳利に  
かへしてゐる男があつた。  
盲編の七五三に茶の帯を  
だらしなく締めて白の半ダ  
マを腹から覗かせた具合が  
何者だか一寸ふめさうもな  
い柄だつた。

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 胃性 腸病  
藤沼醫院 院醫科 院醫科  
電話七〇七

藤沼醫院  
平町紺屋町  
電話七〇五番

看護婦急派  
の求めに應  
じます  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

高久病院  
院長 醫學士 高久 忠  
副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科  
平町南町 電話五一三番

舊歲暮福引大賣出し  
舊十二月廿二日より廿八日迄  
現金御買上貳圓毎に福引券一枚呈上仕候  
贈るに便利受けて重寶  
年未年始の御贈答には  
三井の商品券  
景品目録  
特等 丸帯又ハ小紋  
一等 高貴織又ハ本場銘仙  
二等 瓦斯反物又ハ帶地  
三等 敷布又ハメリヤス  
四等 御風手 呂 敷  
五等 御手 富 貴  
先仕入の底値品豊富取揃へて在りますから是非此の機を逸せず御買上の程お待ち申上げます  
御婚禮式服特賣……卸仕着向格安品  
御歳暮、年始、御進物用……格安反物  
別誂仕立コート  
防寒用 糸製品 ラシヤ類 流行シヨール  
値に！ 柄に！ 全商品本年悼尾の大奉仕  
三井吳服店  
平町 電話二八・二八四

外科 門專 X  
科線光  
上田外科醫院  
平町南町  
電話二一九番

御用命は總て印刷物  
常警日印刷株式會社  
電話三六〇番

高橋時計店  
精幸堂號  
平町才樋小路